

第27回

逗子海岸

おぶさめ  
流鏝馬

秋晴れの逗子海岸。江の島の向こうには雪化粧した雄大な富士山。さざ波が寄せては引く砂浜を、切り裂くようにどどどと馬が駆け抜ける。馬上の武者が弓を引く緊張の一時。息を吞んで見守ります。



11月18日(日)13時～

雨天決行  
荒天25日

- 11時00分～ 子ども武者行列出発(亀岡八幡宮)
- 11時15分～ 子ども武者による弓引きの儀(逗子銀座商店街)
- 12時30分～ 逗子開成学園による和太鼓演奏(逗子海岸)
- 13時00分～ 流鏝馬(逗子海岸)

詳細はこちら



zushi-sci.jp

※流鏝馬会場、一部有料観覧席有。(前売り3,000円、当日3,500円)

※子ども武者行列と弓引きの儀は時間が一部変更になる場合があります。

※当日、流鏝馬の当たりの的を販売します。矢が当たって割れた当たりの的は縁起物とされ、一発必中を願う受験生に人気です。数量限定、先着順。(板的1,000円、土器的500円)

## 逗子と流鏝馬



流鏝馬の起源は6世紀半ば。神事として始まり、平安時代、宮廷の公事として行われていました。その後、源頼朝が天下泰平・国家安穩を祈願するため、1187年に鶴岡八幡宮で流鏝馬を開催し、以来1267年まで毎年のように行われました。鎌倉幕府2代目将軍源頼朝が小壺（現在の逗子海岸）で笠懸（流鏝馬同様、騎射の一種）を行った記録が「吾妻鏡」に残っています。

1945年、逗子海岸沿いにあった「なぎさホテル」に米軍が進駐していたとき、武田流司家の先代金子帥範が流鏝馬騎射を披露したところ、この日本伝統武芸に大いに魅せられ、ホテル前面の海岸で米将兵が練習に励んだそうです。1948年・1949年の11月には、市民も参観に加わり、日米親善流鏝馬騎射会が行われ、終戦直後の人々に、大きな慰めと希望を与えました。

逗子市商工会では、貴重な伝統武芸を後世に残すべく、1992年から800年以上前に行われた逗子流鏝馬を再現しています。

# 同日開催！ うみ・そらマルシェ

わたしの #逗子暮らし を  
ちょっと体感してみませんか

11:00～15:00 @ 逗子海岸ロードオアシス

14の市内の人気店や創業予定者による7千店舗がウッドデッキに集合します！



詳細はこちら



問合せ  
逗子市観光協会  
046-873-1111  
www.zushitabi.jp

寄附で逗子を応援！  
ふるさと納税受付中！！



楽天ふるさと納税  
<https://www.rakuten.co.jp/f142085-zushi/>



ふるさとチョイス  
<https://www.furusato-tax.jp/city/product/14208>



ヤフーふるさと納税  
<https://furusatonouzei.yahoo.co.jp/list/14208/142>



ANAふるさと納税  
<https://furusato.ana.co.jp/area/14208>



ふるまる  
<https://zushi.furumaru.jp/>